



本年度アカデミー賞2部門受賞
本年度アカデミー作品賞他6部門ノミネート

ハクソー・リッジ

HACKSAW RIDGE

メル・ギブソン監督作品

6月24日(土) 全国ロードショー

本作品は、シネマ Q とシネマライカムにおいて公開されます。

STORY

第2次世界大戦の激戦地だったハクソー・リッジ（前田高地）で、「武器を持たない衛生兵」として従軍したデズモンド・ドスを主人公にした実話から生まれた作品です。ドスは、皆が殺しあう戦場で、武器に頼らないことを心に誓い、目の前で次々と倒れていく仲間の中、「命を救う戦い」が始まります。

市のホームページ▶
ハクソー・リッジページの
詳細が掲載されています。



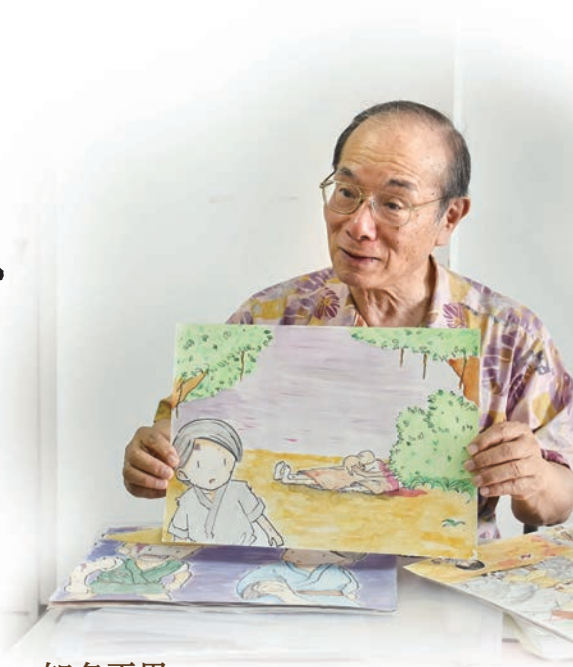
© Cosmos Filmed Entertainment Pty Ltd 2016



(左)戦時中のハクソーリッジ(右)映画のワンシーン



沖縄在ミラーファミリーとクジールさんファミリー



知名正男さん(74)

てだこ市民大学第4期生(平成25年度卒業)父の仕事の関係で鹿児島で生活。父が鹿児島で亡くなったのをきっかけに、昭和21年に沖縄に戻る。それから数年後に母親も亡くなり、兄弟がそれぞれ親戚に引き取られるなど、戦争は経験していないものの知名さん一家も戦争に翻弄された。



平和を伝えつなぐ

伝える人がいます。伝える映画があります。

72年経った平和な「今」だからできる戦争の伝え方。



紙芝居に 想いを込める

てだこ市民大学の卒業レポートで前田高地の戦いを取り上げるにあたり、戦争体験者への聞き取り調査を行いました。

前田の住民の悲惨な戦争体験を記録することは、体験者の高齢化もあり時間的に切迫していると感じました。聞き取りを通して、苦勞してきた人々の記憶を共有し、後世に伝えることが地域に住む者の務めです。その聞き取りを行うのは、現在前田に住む私の使命であり、子どもたちにも伝わるようにと、戦争体験者の話を紙芝居にして伝えるという現在の活動につながっています。

今後聞き取り調査を続けて、子どもたちに戦争の悲惨さを伝えていきたいと思えます。

映画から伝える

2017年第89回のアカデミー賞で2部門を受賞した、メル・ギブソン監督作品「ハクソー・リッジ」。この作品は、米軍が首里へ侵攻した際、最大難所であった断崖絶壁の高地(浦添城跡周辺)が舞台となっています。主人公のデズモンド・ドスが、衛銃弾や爆弾が飛び交う中、「二人でも多くの人を助けたい」という信念で、事実75名の負傷者を助けた。この時、日本兵も手当したということが分かっています(負傷兵が捕虜になったとき、すでにアメリカ軍の包帯が巻かれていた。敵、味方分け隔てなく助けたドスの実話から、身近に戦争を感じてもらえるのではないのでしょうか。

海外では昨年の11月に公開され、多くの人々がこの前田高地での戦いに関心を持ち、日本人、外国人を問わず前田高地、浦添城跡に足を運ぶ姿が増えています。

自ら学び共有する

毎年市内5校の中学校から2人の生徒が派遣され結成される中学生平和交流団。市内や県内・県外の戦争の歴史を学び、その上で自分たちに何ができるかを考え、それぞれが主体的に平和のためにできる取り組みを実践しています。

これまでに274人の団員が参加しており、平成25年度からは「ピースメッセンジャー」として認定し、市戦没者追悼式やまなびフェスタなど様々な場面で平和への想いをつないでいます。

※「中学生平和交流事業」は平和を伝えつなぐ取り組みとして、平成8年度から実施しています。



浦添グスクにある御嶽[ディーグガマ]の前で
うらそい歴史ガイドの方から説明を受ける中学生

取材中にある家族との出会いがありました。アメリカのテネシー州から家族に会いにきたクジールさんファミリー。日本行きの飛行機の中で『ハクソー・リッジ』を観てこの場を訪れたということで、この場に立つて思うことを聞きました。

「自分たちの国で見聞きしただけでは自分たちの国の側に立った視点でしか物事が見ないことがあります。沖縄に来ていろいろな戦跡を巡って思ったことは、アメリカ軍が家族を大事に想って戦っていたように、日本兵にも同じように家族がいて、家族のことを想って家族のために死んでいった。どちらの国も同じ気持ちで戦っていたことを知ることができました。戦争というのはお互いの国にとって悲惨な歴史であり悲しい犠牲をはらいました。しかし、それを乗り越えてきたからこそ私たちの家族がある。今回の旅行は家族のつながりを再認識するとても意義のあるものでした。」

～写真・遺品が語る平和への願い～

沖縄・浦添戦(いくさ)展



期日 6月19日(月)～29日(木)
場所 浦添市役所 1階ロビー
内容 戦時中の写真パネルのほか、証言記録などを展示

激戦地「浦添・前田高地の戦い」
～映画「ハクソー・リッジ」舞台から学ぶ～

平和講演会



日時 6月16日(金)午後7～9時
場所 中央公民館 3Fホール
申込 6月15日まで(☎879-5503)
料金 無料(80名限定)手話通訳あり

うらそい歴史ガイドが案内する
激戦地の今

前田高地の戦跡めぐり



日時 6月18日(日)
午前9時45分～ ※雨天中止
集合 浦添グスク・ようどれ館
申込 6月15日まで(☎874-9345)
料金 300円(保険料等)

今、読んでおきたい本

平和を考える

期間 6月1日(木)～6月29日(木)
場所 浦添市立図書館



1F 平成29年度企画展
過去・現在…そして未来へ
～平和な未来を考える～
2F 郷土スポット企画
未来に伝える沖縄戦
～本を通して戦跡を巡り、証言を聴く～

戦争と平和を考える展示

浦添城跡出土の戦争遺物展



右記の実物
を見る事が
できます。

期間 6月6日(火)～7月30日(日)
場所 浦添グスク・ようどれ館
料金 大人100円、小人50円
※市内小中学生無料
休館 月曜日※ただし7/17(月)海の日が開館

米軍の水筒

銃弾の痕がたくさん見られる。



日本軍の鉄かぶと

真綿入りのカバーをかぶせて炎天下での過熱を防いだ。中央の星マークは陸軍の印。



—— 壮絶な戦いを物語る ——



日本軍の小銃 銃先に「銃刀」を装着して戦った。

浦添グスク・ようどれ出土の

戦争遺物